

製品名: RIPK1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82284**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	76kDa

抗原情報

遺伝子名	RIPK1
別名	RIP; RIP1; IMD57; RIP-1
遺伝子 ID	8737.0
SwissProt ID	Q13546
免疫原	大腸菌で発現したヒト RIPK1 (AA: 131-277) の精製された組み換え断片。

背景

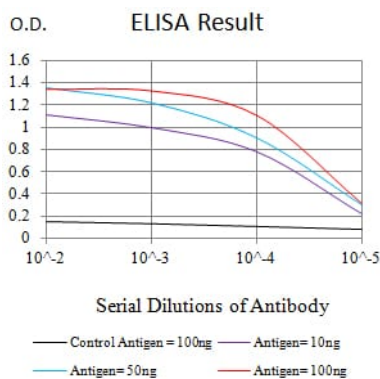
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼの受容体相互作用タンパク質（RIP）ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、組織損傷、病原体認識、そして発生制御における炎症および細胞死に関与しています。RIPK1/

RIPK3 キナーゼを介した壊死は、ネクロプトーシスと呼ばれます。マウスにおいてこの遺伝子を破壊した場合、生後まもなく死に至ります。[RefSeq 提供、2017年8月]

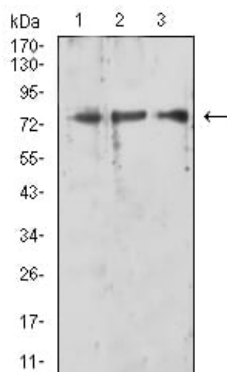
研究分野

アポトーシス

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HL-60 (1) 、K562 (2) 、および Jurkat (3) 細胞溶解物に対する RIPK1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。